

# 令和5年度第1回社会教育委員の会議

令和5年4月17日（月）午前9時30分から  
市役所第二庁舎 8階・801会議室

## 次 第

### 1 議題

- (1) 会議録の承認について
- (2) 管外視察研修について
- (3) 放課後子どもプラン運営委員会への出向委員について
- (4) その他

### 2 報告

- (1) 令和5年度予算概要について
- (2) 地域学校協働活動事業について
- (3) 小平市との図書館の相互利用に関する協定の締結について
- (4) 令和4年度三者合同会議の報告について
- (5) 令和5年度東京都市町村社会教育委員会連絡会総会について

### 3 資料

- (1) 社会教育委員の会議会議録（令和4年度第6回） 資料1
- (2) 令和5年度管外視察研修について 資料2
- (3) 地域学校協働活動について 資料3
- (4) 小金井市及び小平市の図書館の相互利用に関する協定書 資料4
- (5) 令和4年度三者合同会議報告書 資料5
- (6) 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会の開催について 資料6

### 4 今後の予定

第2回社会教育委員の会議

日時：5月22日（月）午前9時30分～（予定）

場所：801会議室

## 令和5年度管外視察研修について

- 1 日 時 7月3日(月)～7日(金)の週 午後半日(13時～17時)
- 2 交通手段 マイクロバス
- 3 目 的 小金井市の地域学校協働のさらなる充実を図るため、近隣市の先進事例について学ぶ
- 4 視察候補地・視察内容
  - (1) 小平市 なかまちテラス(図書館・公民館複合施設)  
なかまちテラスを拠点として行われている様々な地域学校協働活動について
  - (2) 清瀬市 コミュニティハウス(東京都のモデル事業・市立清瀬中学校敷地内)  
コミュニティハウスを拠点として行われている様々な地域学校協働活動について
  - (3) 西東京市 明保中学校(令和3年7月よりコミュニティスクールに指定)  
明保中学校で行われている地域学校協働活動について  
(参考)令和4年度実施(予定)の活動
    - ・体験型推理ゲーム ・企画・販売プロジェクト
    - ・特殊詐欺撲滅プロジェクト ・本気のかくれんぼ大会
    - ・次世代型スポーツ「サッセン教室」
    - ・放課後ステイルーム ・学校応援団プロジェクト
  - (4) 武蔵野市 関前南小学校  
関前南小学校で行われている地域学校協働活動について
    - ・どんと焼き(青少協、PTA、地域子ども館、コミュニティ協議会等、8団体が協力)
    - ・みんなの関前(地域情報サイト、LINE)

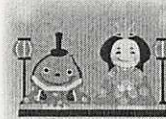
※ (1)小平市+(2)清瀬市、または(3)西東京市+(4)武蔵野市の組み合わせ





# 市報 **こだいら**

平成27年(2015年)  
**3/5**  
第1367号



ぐるべー



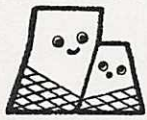
携帯電話用



スマートフォン用

## なかまちテラス 開館特集号

発行：小平市 編集：小平市教育部 仲町公民館・仲町図書館 〒187-0042 小平市仲町145番地 仲町公民館 ☎042(341)0862 仲町図書館 ☎042(344)7151  
◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール [info@city.kodaira.lg.jp](mailto:info@city.kodaira.lg.jp) ◇小平市携帯電話用ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp/m>

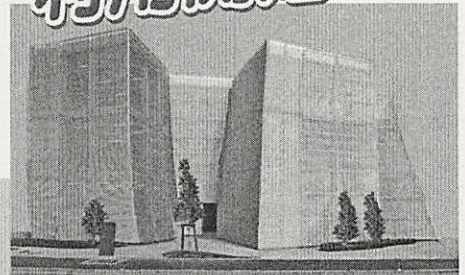


## なかまちテラス

小平市立 仲町公民館・仲町図書館

# 3月14日(土)から 利用開始

なかまちテラスは、公民館と図書館の機能を一体化した生涯学習施設です。「なかまちテラス」という愛称には、「なかま」や「仲町を照らす」、そして「仲町から照らす」といった意味も含まれています。世界的な建築家である妹島和世さんの設計により、斬新で芸術性の高いデザインの建物になっています。地域の方々の多様な活動が展開され、地域の学びとつながりづくりの拠点となることにより、生涯学習の振興と地域の活性化を進めていきます。



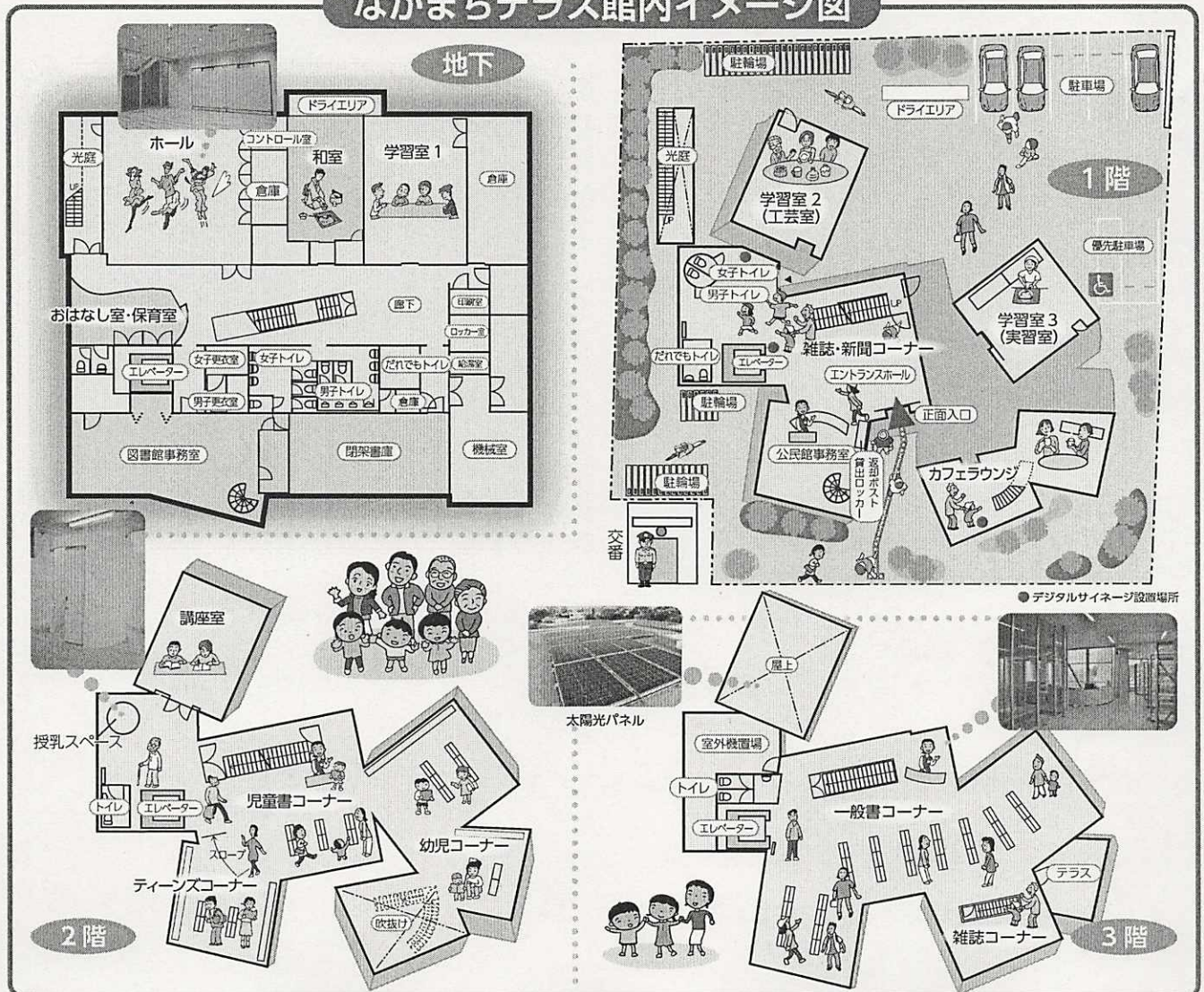
©TAKASHI OKAMOTO

### 設計者 妹島和世 さんからのメッセージ

なかまちテラスは、周辺の建物のスケールに合わせるように、いくつかの小さな建物が寄り添ってできた形をしています。

地上では各部屋が「はなれ」のように置かれ、それらの間は人々が通り抜けることができます。\*とおりぬけ。があることで、建物は周辺に対してひらかれ、いろいろな出会いを創出することができる場となることを期待しています。

### なかまちテラス館内イメージ図





# なかまちテラスの主な特徴

## 公民館

これまでの仲町公民館にはなかった実習室を完備したことにより、新たな講座やサークル活動ができるようになります。

また、聴覚障がい者用に携帯磁気ループシステムを導入しま

す。講演会などで専用のマイクで話した声を磁気に変換し、専用の受信機または対応している補聴器で受信することにより、音が聞こえやすくなります。

## 図書館

### 3つの新しい機能

●資料に貼付されたICタグにより、自動貸出機による資料の貸し出しが可能になります。出入り口3か所にゲートを設置し、館内はどこでも資料を持ち運べ、カフェラウンジなど好きな場所で図書館の

資料を閲覧できます。  
●貸出ロッカーを設置し、図書館が閉館した後の時間や休館日に、予約資料を受け取ることができるサービスを開始します。  
●地区図書館で初めてのデータベースを導入することにより、調べ学習に役立ちます。

## なかまちテラスの施設案内

### 地下

ホール（防音・音響設備）やおはなし室・保育室などがあります。

### 1階

工芸室やカフェラウンジなどがあります。エントランスホールの雑誌や新聞は、館内どこでも閲覧できます。また、なかまちテラスの行事や市の情報などを表示するデジタルサイネージ（電子掲示板1面の●印参照）が設置されます。

### 2階

児童書・ティーンズコーナー  
ティーンズコーナーや調べ学習をするための資料を充実します。調べものをするためのテーブルや椅子、カウンター席があり、快適に利用できます。

### 3階

### 一般書コーナー

天気の良い日には、屋外で読書ができるテラスがあります。

また、設計者である妹島和世さんの関連書を集めたコーナーも開設します。

その他

館内のWi-Fi環境の整備や小川用水の親水整備を行いました。

また、3月14日（土）のなかまちテラス利用開始にあわせ、にじバスの停留所の名称も「仲町公民館」から「なかまちテラス」へ変更します。

## 開催イベント

- 3月14日（土）～4月2日（木）（図書館休館日を除く）午前9時から午後5時まで 絵本作家 飯野和好さん「ねぎぼうずのあさたろう」原画展覧会
- 3月14日（土）・15日（日）・21日（土・祝）・28日（土）午前10時から午後4時まで 活動サークルなどの見学、体験

- 3月22日（日）・29日（日）午前10時から午後4時まで ホールでの舞台発表
- 3月25日（水）午前10時から11時まで 春休み子ども映画会

予告 5月16日（土）・17日（日）（仮称）なかまちテラスまつり

## カフェラウンジ

1階には障がい者団体の運営により、カフェ（16席）がオープンします。飲み物や軽食などをお楽しみいただけます。



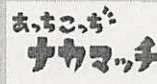
## 市民との協働

開館に向けた市民との協働の場として、「なかまちテラス未来づくり実行委員会」が活動してきました。実行委員会では「なかまちテラスだより」を不定期で発行しています（公民館や図書館にて配布）。



また、武蔵野美術大学の学生たちが企

画したなかまちテラスPRイベントでは、市民の皆さんが小平ゆかりのパーツを組み合わせ、150体以上のなかまちテラスPRキャラクター「あっちこっちナカマツチ」が誕生しました。さらに、なかまちテラスの口



ゴマークも作りました。

これらを活かして、小平駅前に、なかまちテラスのPR看板を制作・設置したり、市内を走るにじバス1台のラッピングも完成しました。



事業や運営などについて、皆さんで話し合い協働する場を、今後も立ち上げていきます。

開館までの経緯	旧仲町図書館閉館 平成24年1月31日	旧仲町公民館にて予約資料受け取りサービスを開始 平成24年4月	旧仲町図書館を取り壊し、なかまちテラス建築 平成25年2月 平成26年10月	愛称が「なかまちテラス」に決定 平成26年3月	なかまちテラス・NKPSプロジェクト「なかまちテラスの未来づくりワークショップ」（全11回） 平成26年8月 平成26年10月	武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科との授業連携 平成26年9月	なかまちテラス未来づくり実行委員会開催（市民協働による事業などの検討）（全体会7回、分科会20回以上） 平成26年10月 平成27年3月	建物の完成 平成26年10月31日	なかまちテラス開館PRイベント「あっちこっちナカマツチ」開催 平成26年11月2日	なかまちテラス100日前イベント開催 平成26年12月4日	旧仲町公民館閉館イベントを開催 平成27年3月1日	旧仲町公民館の閉館 平成27年3月8日	なかまちテラスの利用開始 平成27年3月14日
---------	------------------------	------------------------------------	--	----------------------------	---	------------------------------------	--	----------------------	--	----------------------------------	------------------------------	------------------------	----------------------------

開館時間・休館日は平成27年度末まで次のとおりとなります。

- ▶仲町公民館  
開館時間 午前9時～午後10時  
休館日 第3木曜日、年末年始
- ▶仲町図書館  
開館時間 午前9時～午後5時（祝日を除く火曜・水曜日は午後8時まで）  
休館日 金曜日・第3木曜日、年末年始



西武新宿線小平駅南口徒歩10分  
西武多摩湖線青梅街道駅徒歩10分

## 問合せ

- 仲町公民館  
☎042 (341) 0862  
✉kominkan@city.kodaira.lg.jp
- 仲町図書館  
☎042 (344) 7151  
✉tosyokan@city.kodaira.lg.jp



# 地域の人々をつなげる 「コミュニティハウス」

～「地域コミュニティの拠点としての学校」の機能を高める～

本格的な人口減少時代にあつて、次代を担う子供たちが健やかで心豊かに成長を遂げていくためには、地域コミュニティを子供の成育空間として再生していく取組を進める必要があることから、平成31年2月に出された第10期東京都生涯学習審議会の建議では、地域学校協働活動を軸に据えた今後の社会教育事業の在り方について提案しています。

この提案を踏まえ、東京都教育委員会では、これまでの地域と学校の連携・協働に関する事業を拡充しながら、「地域のコミュニティづくりの拠点としての学校」の機能を高めていくために、令和元年度から「Tokyoスクール・コミュニティ・プロジェクト」として位置付け、実施しています。

このプロジェクトは、(1) 放課後子供教室の取組の推進、(2) 地域交流拠点の運営効果に関するモデル事業、(3) 地域学校協働活動の活性化に向けた、区市町村への統括コーディネーターの配置促進の取組で構成されており、区市町村と連携を図りながら実施しています。

この中で、令和3年3月に清瀬市立清瀬中学校に地域交流拠点（コミュニティハウス）が設置され、今後、活動の展開が期待される「(2) 地域交流拠点の運営効果に関するモデル事業」について紹介していきます。

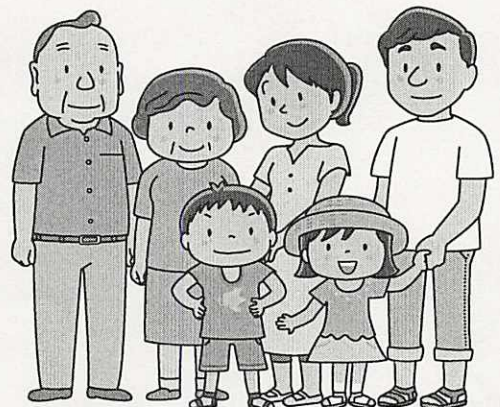
## 地域コミュニティの拠点として、学校に期待される役割

2025年には東京都においても本格的な人口減少社会に突入すると言われており、このような状況の下で、いかにして持続可能な地域社会づくりを進めていくかが問われています。

持続可能な社会づくりを実現するためには、地域を構成する人々が生活の課題について考え、学び合い、相互につながりあえる場（地域交流の拠点）を身近な地域の中に創出していく必要があります。

「スクール・コミュニティ」とは、学校を地域づくりの拠点に位置付けるという考え方であり、今後、縮小していく社会の中で、地域の公共空間を確保していくためには、地域住民の交流拠点としての学校の機能を最大限に生かしていくことが求められます。

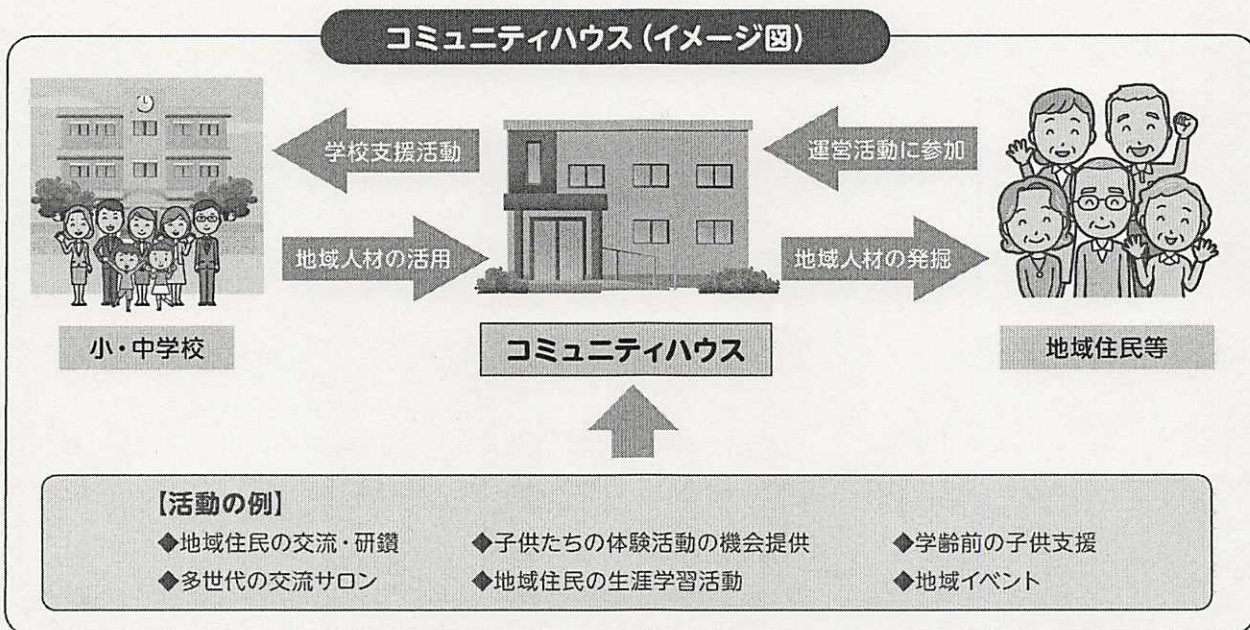
子供から高齢者に至る多世代が協働したり、外国人等異なる文化を有する者たちとの交流により、ダイバーシティ（多様性）があふれる地域コミュニティでは、健康かつ安全で安心な暮らし、子育ての充実、生きがいづくり等の分野で地域住民の主体的な学びが活発に行われています。そのような場では、他者との対話が生まれ、これにより人々がつながることの意味を理解し、住民同士の絆を強めていくことができます。そこで求められるのは、徒歩圏の中に、恒常的に交流・協働が図られる場を設けることです。公民館をはじめとした社会教育施設の整備が人口に比して十分とはいえない東京にあつて、地域住民相互の交流の拠点づくりをどのように進めていくかが課題となっています。





# 学校に「コミュニティハウス」が設置された！

地域学校協働活動を推進し、学校が持続可能な地域づくりの拠点として機能するモデルを示すため、東京都はコミュニティハウスの建設を構想しました。この構想は、東京都の補助を受けた清瀬市によって実施され、令和3年3月に清瀬市立清瀬中学校の敷地内に「コミュニティハウス」が設置されました。



コミュニティハウスは2階建ての建物で、1階は地域の方々が集うコミュニティスペースとなっており、2階には児童クラブが設置されています。コミュニティスペースに期待される役割は、子供から高齢者まで多世代の様々な人々が社会参加できる場をすることで、地域学校協働の理念を実現することです。

コミュニティスペースの運営は、PTA活動や地域コミュニティ活動を通じて知り合った人々により設立されたNPO (NPO法人きよせラボ、柿添信作理事長) が担うことになりました。柿添さんは、「地域コーディネーターをはじめ地域住民、民間企業にも子供支援のネットワークを広げることを通じて、学校支援だけでなく、文化・芸術活動や地域の防災・減災活動等様々な活動を企画・実施していきたい。」と抱負を語っています。



NPO法人きよせラボのメンバー (コミュニティスペースにて)



コミュニティハウス

コミュニティスペースが創り出す様々な取組が地域の人々のつながりを深め、子供から高齢者まで幅広い層の地域参加を生み出し、今後の新たな地域コミュニティづくりのモデルとなるよう、東京都は清瀬市と連携して、この取組を支援していくとともに、その取組の成果を研究・分析することを通じて、都内各地に地域学校協働活動の輪を広げていきたいと考えています。



## 令和 4 年度地域学校協働活動について

## 1 各学校の活動状況

## (1) 地域学校協働本部事業

学校名	内容
第一小学校	消毒活動、夏休みの水まき、授業補助、行事補助
第三小学校	清掃活動
第四小学校	地域防災活動
東小学校	登下校見守り、授業補助、行事補助
前原小学校	登下校見守り、授業補助
緑小学校	消毒活動、うさぎの世話、授業補助、行事補助
南小学校	構内の環境整備
南中学校	地域防災活動

## (2) 地域未来塾

学校名	教室名	学習支援員(人)	参加児童数(人)	実施回数(回)
東小学校	わくわくスタディー	25	120	3
前原小学校	まえはら☆まなび～	322	1,263	63
緑小学校	ほうかご英語	244	916	34
	Enjoy! フォニックス	85	66	22
	ほうかご英語	150	168	31
南小学校	CoCo みなみ	20	51	5
合	計	846	2,584	158

## 2 研修会等の開催状況

## (1) 都主催

- ① 統括コーディネーター対象 4回開催
- ② 全コーディネーター対象 1回開催(12/10 令和4年度地域学校協働活動推進フォーラム/コミュニティ・スクール推進フォーラム※オンライン開催)

## (2) 市主催

全コーディネーター対象の連絡会 2回開催(7/1・12/1)



## 令和5年度地域学校協働活動について

### 1 コーディネーター委嘱状況

#### (1) 統括的な地域学校協働活動推進員（統括コーディネーター）

古源 美紀（継続）（主任児童委員）

#### (2) 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）

学校名	氏名	新規・継続	主な所属等	学運協委員
小金井第一小学校	富沢 智代	継続	放課後子ども教室コーディネーター	○
小金井第二小学校	大久保 美千子	新規	放課後子ども教室コーディネーター	○
小金井第三小学校	伊藤 弘美	継続	放課後子ども教室コーディネーター	○
	神田 潤	継続	おやじの会	
小金井第四小学校	淵上 直美	継続	放課後子ども教室コーディネーター	○
東小学校	古源 美紀	継続	主任児童委員	○
	成田 普子	新規	放課後子ども教室コーディネーター	
前原小学校	森田 加代子	継続	放課後子ども教室コーディネーター	○
	反町 聡子	継続	元PTA会長	
本町小学校	岡田 治子	新規	図書館支援員	○
緑小学校	駒野 愛子	継続	元PTA副会長	○
	八木 尚子	継続	健全育成北部地区委員会	○
	吉田 路子	継続	放課後子ども教室コーディネーター	○
南小学校	高橋 亜紀	継続	放課後子ども教室コーディネーター	○
	川原 美紀	継続	小金井市公民館運営審議会委員	
	加辺 博之	継続	PTA会長	○
小金井第一中学校	川畑 美和子	継続	前民生委員児童委員協議会会長	○
小金井第二中学校	富沢 智代	新規	放課後子ども教室コーディネーター	○
東中学校	松浦 早紀子	新規	民生委員	○
緑中学校	調整中			
南中学校	淵上 直美	継続	放課後子ども教室コーディネーター	○
	緒方 澄子	継続	民生委員	○

### 2 今年度の主な取組

- (1) 全小中学校での地域学校協働本部の設置、活動開始に向けての支援
- (2) 効果的な研修会の実施（初任者研修、小中学校別研修、外部講師の活用等）
- (3) 学校、地域への広報活動
- (4) 地域人材の活用・地域の方が学びを生かす場の仕組みづくり、公民館との連携





## 小金井市及び小平市の図書館の相互利用に関する協定書

小金井市教育委員会（以下「甲」という。）と小平市教育委員会（以下「乙」という。）とは、小金井市立図書館及び小平市立図書館（以下「図書館」という。）を小金井市民及び小平市民による相互の利用（以下「相互利用」という。）に供するため、次のとおり協定を締結する。

## （目的）

第1条 この協定は、甲及び乙が図書館の相互利用を実施することにより、甲及び乙の図書館奉仕の充実を図り、市民の自主的な学習活動の場を広げるとともに、資料の収集及び保存について相互に協力を進め、もって市民の教養の向上及び文化の発展に寄与することを目的とする。

## （相互利用に供する図書館）

第2条 相互利用に供する図書館は、甲及び乙が管理する各図書館とする。

## （利用者）

第3条 前条の図書館を利用できる者は、小金井市又は小平市に居住する者とする。

## （サービスの範囲）

第4条 この協定により図書館を利用する者（以下「利用者」という。）に貸出のできる図書館資料は、図書館が貸出の用に供するため所蔵する資料に限るものとする。

2 この協定により利用者に貸出のできる図書等の種類及びサービスの範囲は、別に定めるものとする。

## （開始日）

第5条 甲が管理する図書館は、令和5年4月1日から小平市民の利用に供するものとする。また、乙が管理する図書館は、令和5年5月24日から小金井市民の利用に供するものとする。

## （相互利用の方法）

第6条 図書館の相互利用の方法は、この協定に定めるもののほか、図書館に関する条例、規則等の定めるところによるものとする。

## （個人情報の保護）

第7条 甲及び乙は、個人情報の保護に関する法律等の定めるところにより、利用者の個人情報の保護に努めなければならない。

## （連絡会議）

第8条 図書館の相互利用を円滑に実施するため、必要に応じて担当者による連絡会



議を開催する。

(協議)

第9条 この協定に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、甲及び乙が協議の上定める。

(効力の発生)

第10条 この協定は、令和5年4月1日から効力を生じるものとする。

この協定の成立を証するため、本書2通を作成し、甲及び乙が署名押印の上、各1通を保有するものとする。

令和5年3月29日

甲 東京都小金井市前原町3丁目41番15号

小金井市教育委員会

教育長

大熊雅士



乙 東京都小平市小川町2丁目1333番地

小平市教育委員会

教育長

小川正之





## 相互利用に関する図書等の種類及びサービス範囲

項目		図書館のサービス範囲	
		小金井市立図書館	小平市立図書館
利用対象館		全館(1館3分室1図書室)	全館(8館3分室)
利用登録対象者		小平市内居住者のみ (小平市内通勤・通学者は不可)	小金井市内居住者のみ (小金井市内通勤・通学者は不可)
団体登録・団体貸出		不可	不可
貸出冊数	図書・雑誌	制限無	5冊以内
	視聴覚資料	CD、カセットテープ5点	CD、カセットテープ1点 ※DVD 貸出不可
貸出期間		3週間以内 視聴覚資料2週間以内 (予約がない図書・雑誌の場合のみ延長1回1週間が可能)	2週間以内 (予約がない場合、延長1回が可能)
返却場所		全館(1館3分室1図書室) ブックポスト(視聴覚資料除く)	全館(8館3分室) ブックポスト(視聴覚資料除く)
予約・リクエスト		所蔵資料のみ可 但し新刊本は12か月不可	不可(取り寄せ含む)



2023年3月3日

## 報告書

福井高雄

## 令和4年度 三者合同会議

## 〔第7回 社会教育委員の会議：兼務〕

日 時：令和5年3月3日（金） 13：00～14：40

会 場：小金井市立図書館本館 地階集会室

担 当：図書館協議会 委員

参加者：委員20名、職員10名 = 30名

- ・社会教育委員の会議 委員（福井・石原・富田・北澤・金澤・森本・黒木・鈴木）
- ・図書館協議会 委員（大串・藤森・大久保・伊東・高橋・大塚・諏訪）
- ・公民館運営審議会 委員（本川・橋本・吉田・嵯峨山・渡邊）

司会 内田 雄介（図書館 館長）

〔開会式〕 開会の挨拶：梅原 啓太郎（生涯学習部 部長）

## 1、 講演：テーマ「図書館について考える」

講師：大串 夏身（小金井市図書館協議会 会長）

- \* 図書館について、①現状の施設、②デジタル社会の対応、③住民への広報。  
小金井市立・国立・ユネスコ図書館の「資料」などを参考に講義。

## 【内容】

- ・『図書館』とは、本を読み・学び・調べるが、本を仲介して人と人がつながる。
- ・『公共図書館』とは、地域において知識を得る窓口であり、子どもの読書習慣を育成し、デジタル技術を通じて地域社会にサービスを提供。
- ・『小金井図書館』は、図書館基本計画に基づき、知の実現に向けてサービス向上を。
- ・読書の推進：乳幼児～高校生の時代には、多様なジャンルの本を読むことで成長。
- ・学校、公民館、行政、地域団体との連携にて、地域社会の支援によるまちづくり。

## 2、 意見交換（4グループにて、ディスカッション）

## 議題 「人生100年時代に期待される図書館の役割について」

【発表】 第3グループ：5人（福井・石原・高橋・吉田・嵯峨山）

『図書館の施設利用』について

- ・キーワード：人と人とのつながり（知の拠点であるが、人と地域に役立つサービス）
- ・公民館と図書館とが同じテーマにて連携して、市民がつどい、学び、つながる。
- ・居場所づくり：子供、親子、視覚障害者への読書コーナー、カフェコーナーを設置。
- ・次世代の子供たちへの学び返しの持続可能な支援の体制づくり。

【他グループ発表】・学校図書館とのネットワークづくり。・図書館司書の資格者の養成。

〔閉会式〕 閉会の辞：内田 雄介（図書館 館長）

以上



## 報告書

福井高雄

### 令和5年度 東京都市町村社会教育委員連絡協議会『定期総会』

日時：令和5年4月15日（土） 13:00～16:30

会場：昭島市（アキシマエンス体育館）

開催市：昭島市（昭島市生涯学習部社会教育課）

参加者：26市3町の社会教育委員・職員 [参加者は、約110名]

小金井市社会教育委員：柴田、福井、富田、鈴木 職員：三浦・倉澤 = 6名

#### 〔挨拶・祝辞〕

開会の辞 吉田 和夫（都市社連協副会長・町田市社会教育委員の会議 議長）

挨拶 谷部 憲一（都市社連協会長・昭島市社会教育委員会議 議長）

来賓 山下 秀男（昭島市社会教育委員会 教育長）

【昭島市社会教育委員は、市民ニーズを活かした対話から地域力を育む取組みを建議】

〔表彰〕 福井、石原、他市13名 [都市社連協より]

#### 第1部 [定期総会]

議案：事業報告、事業計画、予算、役員は、全て賛成多数にて承認。

【意見：収支予算表に備考欄を設けて、会場費・製本代や予備費などの詳細を記載】

〔令和5年度役員〕

会長：篠崎光正（調布市）、副会長：吉田和夫（町田市）・柴田彩千子（小金井市）

〔閉会の辞〕 柴田彩千子（都市社連協副会長・小金井市社会教育委員会 議長）

#### 第2部 [講演会]

演題： 「学びを広げ、人をつなげ、みんなの願いでまちをつくる」

～「対話」と「共創」から考える社会教育委員の役割～

講師 二ノ宮リムさち（東海大学・スチューデントアチーブメントセンター教授）

・新たなまちをつくるには、多様な市民が参画して活動を広げて未来の社会を創造して変革する。  
人をつなぐには「対話」が重要であり、新たな価値観を共有してみんなの願いを一緒に創造する。

・「あきしま会議」の発足から運営：

社会教育委員が、2018年に“市民ニーズを活かす・つなげる”対話と共創の場をつくる。

多様な年代の市民が主体的に対等に参画して、地域活動の支援をとうして未来のまちづくりを。

#### 【お知らせ】

・令和5年11月21日（火）・22日（水）【関東甲信越社会教育研究大会】『栃木大会』

・令和5年12月9日（火）【都市社連協交流大会・全体研修会】『調布大会』

以上





意見・提案シート

◆社会教育委員の会議への検討内容についてご意見・ご提案がありましたら、以下にご記入の上、生涯学習課にご提出ください。次回開催の10日前に届いたものは、社会教育委員の会議で資料として配付します。

補助金交付について所導している本会が、  
議会の予算審議が終わった後に補助金に関し、  
意見聴取されていることに対して、  
本会の意義、有用性ならぬに  
法令准拠の観点からご審議下さい。

提出日 15 年 2 月 28 日

※原文のまま配付しますので、氏名についても公開の対象となります。

氏名 佐久間 尚己

(送付先)

小金井市教育委員会生涯学習部生涯学習課

〒184-8504 小金井市前原町3-41-15 連絡先: 042-387-9879

FAX: 042-383-1133 E-mail: k020199@koganei-shi.jp